

回覧												

# 垂水市農林技術協会だより

第10号：令和7年1月1日発行  
 発行・事務局：垂水市農林課  
 問合せ先：32-1224（直通）

## ● 内 容

- ・令和7年作付 飼料用稲の種子購入申込について（締切1月15日）
- ・ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の防除対策
- ・農作業中の機械作業の安全対策を徹底しましょう
- ・令和7年4月から、農地の貸借は原則農地バンク経由となります
- ・2027年 国際園芸博覧会

農林技術協会だよりは市のホームページでも掲載しています→



垂水市公式LINE  
 \ 友だち募集中！ /



## 令和7年作付 飼料用稲の種子購入申込について（締切1月15日）

下記のとおり購入申込の受付を開始いたしますので、経営所得安定対策事業等により飼料用稲を作付される方は、農林課までご連絡ください。  
 ※飼料用稲とは、刈り取り後に穂と茎葉を丸ごとサイレージ（発酵）化するホールクローブサイレージ（WCS）用などの稲です。

◆ 申 込 期 間：令和6年12月6日～令和7年1月15日

◆ 販売予定種子

品種名	販売単価（税込）	最小注文単位
タチアオバ	495円/kg(予定) (R6年実績 495円/kg)	20kg

◆ 購入先（予定） 株式会社境田（鹿屋市吾平町）

◆ そ の 他：振込手数料が別途加算されます。正確な代金は、令和7年4月に申込者へお知らせ予定です。

※必要な数量を確実に確保することから、申し込み期限の厳守をお願いいたします。

## ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の防除対策

暖冬の影響でジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）の発生が増えています。現在、ジャンボタニシは活動を停止し、水田や水路で土中に潜って越冬しています。次期作に向けて、水田内の越冬個体を減らし、水路から水田への侵入を防止する以下の防除対策を実施しましょう。



### ○ 冬期の耕うん（発生している場合に必ず実施）

物理的な破碎を行うとともに貝を厳寒期の寒風にさらす。

#### いつ・どのように

- ・ 土壌が乾燥して固い厳寒期（1～2月）に、トラクターの走行速度を遅く、PTO回転を速く（ロータリーの回転を速く）し、土壌を細かく砕くように耕うん。

#### 留意事項

- ・ 未発生ほ場への貝の持ち込みを防止するため、使用後のトラクターに付着した泥を洗浄。



○発生量が多い場合は、水路の土砂上げを行います。越冬場所をなくし越冬個体を寒風にさらしましょう。水路の泥上げは地域ぐるみで実施するとより効果的です。

詳しくは、農水省  
ホームページへ→



## 農作業中の機械作業の安全対策を徹底しましょう

農林水産省は本年度から12月～2月を「農作業安全研修実施強化期間」とし、作業安全の知識向上や実技演習などの開催を呼びかけています。農作業事故の多くが、単純なミスによるものであり、十分注意することで防ぐことができます。基本的な注意事項を確認し、事故の原因を一つ一つ取り除き、農作業事故ゼロを目指しましょう。

- ☑ トラクターに安全フレームを装着し、シートベルト、ヘルメットを着用しよう。
- ☑ トラクターに作業機を装着して公道を走行する際は、灯火器を設置して、安全運転を心がけよう。
- ☑ トラクターが走行するために十分な道幅を確保しよう。
- ☑ 農業機械の定期的な点検・整備を行い、整備不良による事故を防ごう。
- ☑ 機械の詰まりを取り除く際は、回転部分を停止してから取り除こう。
- ☑ 適度な休息をとりましょう。

地域で開催される農作業安全に関する研修に参加し、安全な農作業に関する知識を深めましょう



←農作業安全に関する研修資料はこちらから（農水省ホームページ）

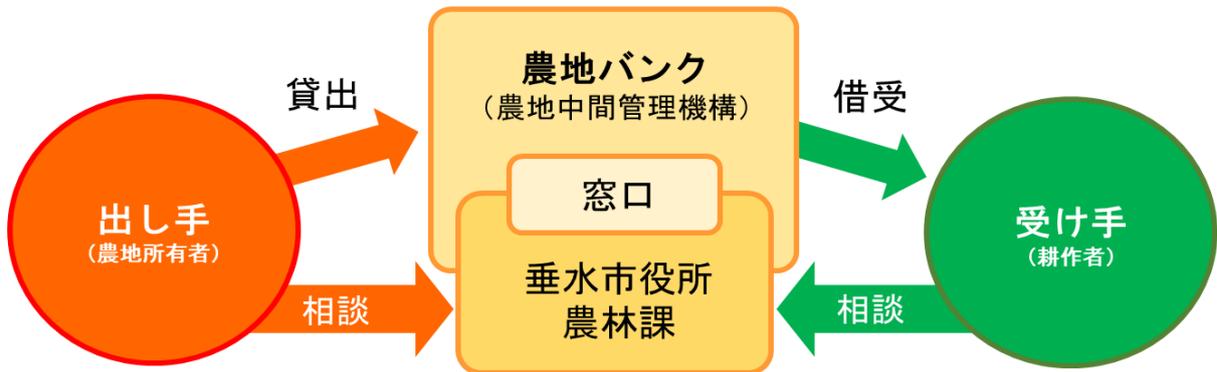
# 令和7年4月から、農地の貸借は原則農地バンク経由となります

農業経営基盤強化促進法（基盤法）の改正に伴い、農地の貸し借りは農地バンクを通じた貸し借りに一本化され、所有者と耕作者の直接の貸し借りは原則できなくなります。

## 農地バンクとは？

- 農地バンク（農地中間管理機構）は、農地所有者と耕作者の仲介役として、所有者から農地を借り受け、耕作者へ農地を貸し出す公的機関です。
- 鹿児島県では、公益財団法人鹿児島県地域振興公社が農地バンクとして認可されています。
- 垂水市役所農林課は、農地バンクからの業務委託により、農地バンクの窓口となっています。

## ○農地バンクを通じた貸し借りの仕組み



### 出し手のメリット

- 農地バンクは公的機関なので、安心して貸出できます。
- 賃料は農地バンクからまとめて支払われ、契約期間満了後に農地は確実に戻ります。

### 受け手のメリット

- 複数の出し手から借り受ける場合でも、農地バンクがまとめて賃料の徴収・支払を行うので、事務が軽減されます。
- 農地を集積・集約することで農作業の効率化や生産性の向上が図られます。

## ○貸出・借受までの流れ



※ご相談を受けてから契約締結まで4ヶ月程度かかります。お早めにご相談ください。

- 現在結んでいる貸借契約は、契約期間満了日まで有効です。
- 農地法第3条に基づく貸借契約は、そのまま継続されます。

お問い合わせ・ご相談は農林課まで

2027年 国際園芸博覧会

GREEN



EXPO

2027



2027年国際園芸博覧会

開催期間：2027年3月19日(金) - 9月26日(日)

開催地：神奈川県横浜市  
主催：公益社団法人  
2027年国際園芸博覧会協会



# 2027年 国際園芸博覧会（続き）

A1クラスの  
国際園芸博覧会

37年ぶりの  
日本開催

## 「GREEN×EXPO 2027」とは

2027年に神奈川県横浜市(旧上瀬谷通信施設)で開催される国際園芸博覧会の略称です。「植物」、「花」、「緑」を総称し、「自然」、「環境にやさしい」という「GREEN」、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」という語を掛け合わせ、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現しました。日本では1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる最上位(A1クラス)での開催で、BIE(博覧会国際事務局)認定の万博でもあります。



公式マスコットキャラクター  
トウナクトウナク

| テーマ |

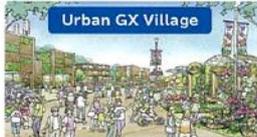
## 「幸せを創る明日の風景」

Scenery of the Future for Happiness

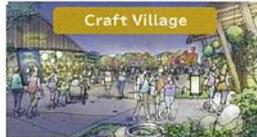
横浜スタジアム約28個分、約100ヘクタールの広大なエリア

### 5つのVillageと 3つのゾーン

瀬谷区・旭区にまたがる上瀬谷の広大な里山を舞台に、起伏のある地形や川の源流などの自然を生かし、市民や企業が出展する5つの「Village(ビレッジ)」と、花や緑の美しい風景が楽しめる3つの「ゾーン」を設けます。



脱炭素社会を目指して新たな技術を導入した未来の都市像を体感できます。



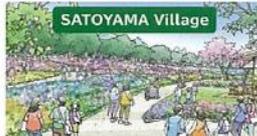
自然と共に生きる知恵と技が詰められた、日本の伝統産業などの温かき知恵を体感できます。



健康を支える食と農が共存した生活と、その豊かさを実感できます。



これからの地球を生きる子どもたちが、遊びを通じて自然の大切さを学びます。



日本の原風景である里山を体感し、生物多様性の価値を再認識します。

国際出展ゾーン

世界各国や国際的な花き園芸・造園企業による出展、世界の園芸文化、食文化の多様性に出会う国際色豊かなゾーンです。

シンボルゾーン

GREEN×EXPO 2027のテーマを発信するテーマ館のほか、花き品種、ガーデンデザインなどの多彩なコンペティションが展開される屋内出展施設を設けます。

日本ゾーン

日本政府による庭園及び屋内出展のほか、主催者による園芸文化展示、地方公共団体等による出展が集結。日本の園芸文化の奥行きに触れることができます。

開催場所

神奈川県横浜市 旧上瀬谷通信施設

開催期間

2027年3月19日(金)～9月26日(日)

公式SNS

公式ウェブサイト



X



Instagram



Facebook



お問い合わせ

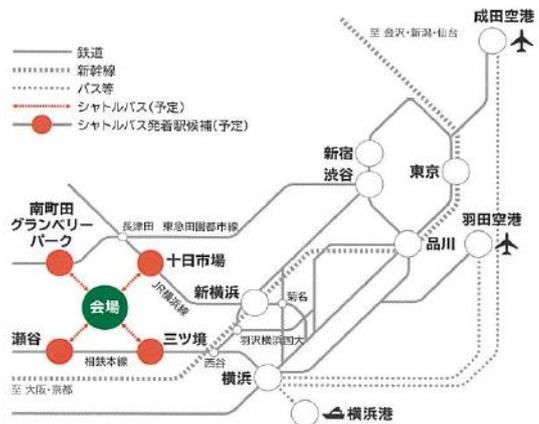
公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

☎ 045-307-2027 ✉ info@expo2027yokohama.or.jp



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2024年9月版

